

創刊の辞

京都大学大学院文学研究科西洋史研究室では、西洋史読書会の会員と研究室のあいだ、また、読書会会員相互のあいだを結ぶ新しい学術的なメディアとして、『フェネストラ——京大西洋史学報』を創刊することになりました。

「フェネストラ」(fenestra) というタイトルは、21 世紀の私たちの視点から西洋の歴史をみつめるための「窓」として、また、読書会の会員のみなさまと研究室を構成する教員・大学院生との学術的な交流を深めるための「窓」として、このメディアが活用されれば、という願いをこめて付けられました。

日本の西洋史学は 120 年余りの年を重ね、多くの貴重な学問的成果が蓄積されてきました。私たちの研究活動は、先行する世代が営々として積み重ねてきた成果に多くを負っています。他方で、西洋史の研究者の専門分化が進み、また、大学で職に就いている者は研究以外の仕事にますます多くの時間を割かざるをえない状況もあって、専門の領域を越えた学術的な交流が従来よりもむずかしくなっています。さいわい、西洋史読書会には、さまざまな世代の、多彩な研究分野の専門家がおられます。『フェネストラ』は、こうした西洋史読書会の特徴を活かしながら、世代や専門分野を越えて、西洋史全般にかかわる学術的な情報を交換し、自由に議論をする広場をつくることを意図して創刊されました。

創刊号には、論説、研究動向紹介、新刊紹介、学会参加記、京大西洋史研究室の授業紹介と大学院生の近況報告が掲載されています。今後は、大学院生による年長の研究者のインタビュー、「自著を語る」、留学体験記、史資料・データベースの紹介、大学・研究機関の紹介なども掲載していきたいと考えています。『フェネストラ』創刊号は、PDF ファイルで読書会会員のみなさまにお届けいたしますが、今後は、インターネット上での公開なども念頭におきながら編集を進めてまいります。

既存の学術雑誌よりも幅をもったスタイルで、しかし、学術的な水準と品位を保ちながら、自由に学問的な提言や議論ができる媒体となることを目指しています。読者のみなさまからのご意見やご提案、そしてご寄稿をお待ちしています。

京都大学大学院文学研究科西洋史研究室 教員・大学院生一同